令和３年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

Ⅰ　スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
Ⅱ　マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
Ⅲ　スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
Ⅳ　日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
Ⅴ　スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【　愛知県立衣台高等学校　】

１ 実践テーマ	【Ⅰ・Ⅲ・Ⅴ】
２ 実施対象者	〈ボッチャの取組み〉 第2学年1・2組 男子：30名　女子：26名　計：56名 〈モザイクアートの取組み〉 第1学年・第2学年
３ 展開の形式	⑴　学校における活動 ①　教科名（　保健体育　） ②　行事名（　文化祭　） ③　その他（　　） ⑵　地域における活動 ①　イベント名（　　） ②　その他　（　　）
４ 目　標 （ねらい）	パラリンピック種目であるボッチャの体験やモザイクアートの作成を通して、東京オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めるとともに、ボッチャなどのパラリンピック競技を実際に体験することで、障がい者スポーツへの理解を深め、共生社会の構築に向けた態度を養う。
５ 取組内容	⑴　【事前学習】　講義　１時間 ア　オリンピック・パラリンピックの歴史や意義について イ　東京オリンピック・パラリンピック競技種目の動画やハイライト等の動画視聴 ⑵　【実践】　「ボッチャ」 ア　ボッチャというスポーツについて イ　ボッチャのルールについて ウ　デモンストレーション エ　試合（各試合２エンド） ２クラス56名を18チーム（３人班16チーム、４人班２チーム）に分け、１コート３チームずつ計６コートで試合を行う。

<table>
<tr>
<td></td>
<td>

〈例〉

〈1 コート〉
【試合順】　　【審判】
①　A　―　B　　C
②　B　―　C　　A
③　A　―　C　　B

⑶　【発表】　「モザイクアート」
文化祭の展示物として１年生はオリンピック、２年生はパラリンピックの種目を生徒に選択させ、準備期間で作成し、展示した。

</td>
</tr>
<tr>
<td>６ 主な成果</td>
<td>
・　実際にパラリンピック種目であるボッチャを体験することができ、競技の楽しさや難しさを実感することができた。
・　本校は、運動が苦手な生徒や、外国人生徒などが多く多種多様な生徒が在籍するが、試合の中で作戦を話し合う姿も見られ、言語活動の充実を図ることができた。
・　運動が苦手でスポーツに対して苦手意識を持っている生徒も活き活きと行えていた。
・　事前に生徒へルールを説明し、審判をさせることによって、スポーツを「する」だけにとどまらず、「支える」体験もさせることができた。
・　モザイクアートは、1、２年生の多くの生徒が作成に携わり、全校生徒が文化祭当日、目にしたことからオリンピック・パラリンピックへの関心がより高まった。
</td>
</tr>
</table>

７ 実践において工夫した点（事業の特色）	• ボッチャの実践及びモザイクアートの作成を夏休み前及び夏休み後に設定したため、東京オリンピック・パラリンピックへの関心がより深まり、特にパラリンピックにも生徒の意識が向くよう工夫した。 • 本校の生徒の特性から、講義だけでなく、プレゼンテーションソフトのスライドや動画など視覚に訴えて説明をしたり、実技体験の時間を多く確保したりした。 • 運動に対して苦手意識を持っていたり、様々な国にルーツを持つ生徒が多くいることから、老若男女問わず楽しむことができる「ボッチャ」を題材とした。 • 審判も生徒自身に行わせることにより、スポーツへの関わり方には様々な形があることを再認識させることができた。 • ２学期の雨天時の体育では定期的に「ボッチャ」を行い、単発的な活動にならないよう留意した。 • モザイクアートを行ったことで、今回「ボッチャ」を体験できなかった学年やクラスの生徒もオリンピック・パラリンピックに関われる機会を作った。
８ 主な課題等	• 生徒たちの感覚として、ボッチャを通して楽しさや難しさを感じたものの、それがパラリンピックや今回の目標である「共生社会の構築」についての深い学びができたかどうかは少し不安が残る。 • 本事業を実施したことにより、オリンピック・パラリンピックを身近に感じ、興味関心も高まってきたが、今後は自分たちが学んだことを活かし、障がい者スポーツの普及や理解・啓発に向けて、どのように参画していけるかなど、手段や方法を具体的に示し、実現できるように指導していくことが必要だと感じた。
９ 来年度以降の実施予定	• パラリンピック教育について、障がい者についての理解が継続して深められるよう、体育理論や科目「保健」の時間を利用して、オリンピック・パラリンピックについて触れていきたい。 • 来年度以降も定期的に「ボッチャ」を取り入れていきたい。